

鼻から入れる 胃の内視鏡検査

胃の検査

らくらく

ガイド

胃の検査、まずは鼻から

自覚症状がなくても
定期的に受診して早め早めの対応を



はじめに

胃がんは早期に発見すれば手術をしなくても治せることをご存知ですか。

通常、胃の粘膜に限局する早期のがんには転移がなく、内視鏡でその病変部を切除するだけで完治させることができます。この様な早期のがんで発見された患者さんのほとんどは症状を訴えることはなく、定期的に内視鏡検査を受けていて偶然発見された方達です。もちろんバリウム検査による胃がん検診も有用ですが、早期の、そして小さな病変の診断には内視鏡検査の方がはるかに優れています。

最近話題になっている鼻から入れる内視鏡（経鼻内視鏡）は通常の経口内視鏡に比べて嘔吐反射をおこすことがほとんど無く、苦痛なく安全に検査を受けることができます。実際、経口内視鏡検査は苦しくて二度と受けたくないと思っていたらしゃった患者さんの多くが、経鼻内視鏡検査を受けると「これなら毎年検査をしてもいい」と言われます。

定期的に内視鏡検査を受けていれば、万が一、胃がんになったとしても、多くの場合内視鏡で治療できる早期の段階で発見されています。特に、胃がんになりやすいとされるピロリ菌感染のある方、慢性萎縮性胃炎の方には定期的な内視鏡検査を強くお勧めします。

一度経鼻内視鏡検査を受けてみて下さい。そうすれば多くの方が次から抵抗無く検査を受けられるようになることと思います。

鼻から入れる胃の内視鏡検査・5つの特長

医師と
同じ画像を見ながら、
リアルタイムで
話せる

苦痛が
少ない

直径5.9ミリの
細くしなやかな
スコープ

麻酔事故の
リスクが少ない

話せる

スコープが
舌のつけ根に
触れにくい

おうとはんしゃ

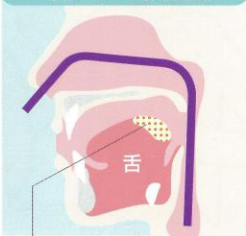
嘔吐反射が
起きにくい

口からの胃内視鏡



この部分にスコープが触れると、
吐き気を感じます。

鼻からの胃内視鏡



この部分に、スコープは触れにくい。

検査後30～60分で
飲食や車の運転が
できます

※詳しくは医療機関でおたずねください。

鼻から入れる胃の内視鏡検査 検査の進め方

鼻の中はとても敏感ですので鼻腔内を麻酔します（鼻腔内に注射するものではありません）

※この手順は施設によって異なります。あらかじめ医療機関にご確認ください。

問診

危険を
回避するための
事前チェック

例えばこんなことを聞かれます

「薬のアレルギーはありませんか？」

「耳鼻咽喉科の先生から、鼻が悪いと言われたことはありませんか？」

「鼻血がよく出ませんか？ 血が止まりにくいことはありませんか？」

「肝臓が悪いと言われたことはありませんか？」

「血液をサラサラにする薬を飲んでいませんか？」

1



消泡液を飲みます。
（胃の中をきれいにします）

2



びくろ
鼻腔に局所血管収縮剤を
スプレーします。
（出血をしにくくし、鼻の
通りもよくなります）

前処置

痛くなく、
安心です。

3



鼻腔に麻酔薬を注入します。
（局所麻酔ですので眠くなりません）

4



鼻腔に、麻酔薬を塗ったチューブを
挿入して、鼻腔の局所麻酔を行います。
（鼻腔の痛みが抑えられ、
内視鏡が通りやすくなります）

鼻からの
内視鏡
検査

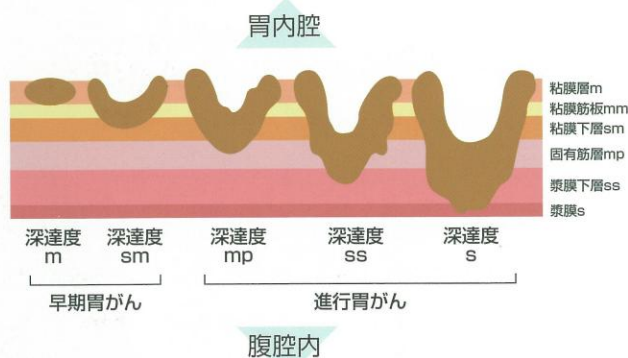
帰宅

眠くなる麻酔は使わないので、
すぐに日常生活に戻れます。

がんの深達度からみた 胃がんの種類

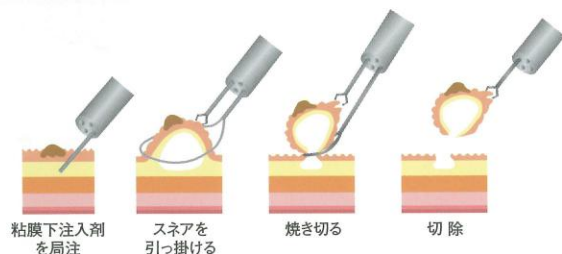
「胃がん」は、がんの深さが粘膜下層までのものを「早期胃がん」、深さが粘膜下層を越えて筋層（固有筋層）より深く及ぶものを「進行胃がん」といいます。

早期胃がんの中でも粘膜にとどまるがんには転移がほとんどなく、多くの場合、内視鏡的に治療できます。

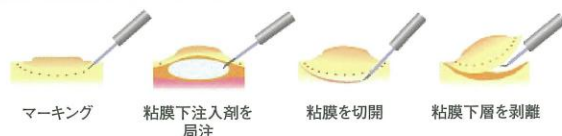


代表的な内視鏡的治療法

●EMR（内視鏡的粘膜切除術）



●ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）



さまざまな 胃がん

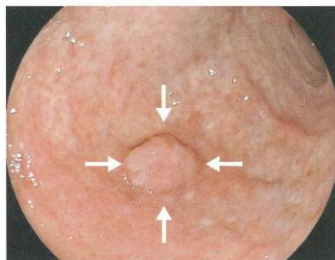
「早期胃がん」にも
さまざまなタイプがあります

早期胃がん 陥凹型



胃角部大弯側に約10mm大の発赤調で不整形の陥凹面を認めます。陥凹型の早期胃がんです。粘膜に局限している病変で内視鏡的に治療できます。

早期胃がん 隆起型



胃体下部大弯側に約15mm大の白色調の隆起性病変を認めます。隆起型の早期胃がんです。この病変も内視鏡的に治療可能です。

早期胃がん 平坦型



噴門部前壁側に約20mm大の発赤調で不整な粘膜面を認めます。平坦型の早期胃がんです。レントゲンの診断が困難な病変です。

画像提供：自治医科大学 内科学講座消化器内科学部門 講師 大澤博之先生

経鼻内視鏡とは…



鼻から入れるために開発された、細くてしなやかなスコープです。
※直径は5.9mm。経口（口からの）内視鏡が直径9.4mmで、その面積を比べると、経口内視鏡の39%しかありません。
受診された方々のご要望も多く、今では全国の3000を超える医療施設（弊社内視鏡）で採用されています。

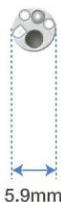
経口・経鼻内視鏡の面積比較

経口内視鏡



9.4mm

経鼻内視鏡

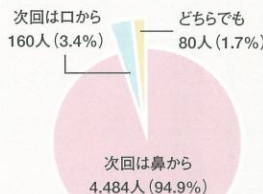


5.9mm

面積比は
経口内視鏡の
39%

※スコープの大きさは
ともに実物大

（当社比）



鼻からの内視鏡検査を受けた人たちの約95%が「次回も鼻から」を希望しています。

※島根県・出雲中央クリニック調べ
※有効回答者数：4,724人

資料提供：富士フイルム メディカル株式会社